

注3

大学番号：国026

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

共同設置

岩手大学 農学部 共同獣医学科
東京農工大学 農学部 共同獣医学科

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

岩手大学：国立大学法人 岩手大学
東京農工大学：国立大学法人 東京農工大学

平成26年5月1日現在

岩手大学：作成担当者	
担当部局（課）名	財務部財務企画課
職名・氏名	シュジ ノザト サチヨ 主事 野里 幸代
電話番号	019-621-6025
（夜間）	019-621-6025
F A X	019-621-6879
e-mail	zyosan@iwate-u.ac.jp
東京農工大学：作成担当者	
担当部局（課）名	総務部総務課
職名・氏名	ホウキカカリチョウ サカグチ ヨウコ 法規係長 坂口 洋子
電話番号	042-367-5505
（夜間）	042-367-5505
F A X	042-367-5553
e-mail	bunsyo@cc.tuat.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は、設置時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

《目次》

1	調査対象大学等の概要等	1	~	5
2	授業科目の概要	6	~	14
3	施設・設備の整備状況, 経費	15	~	16
4	既設大学等の状況	17	~	20
5	教員組織の状況	21	~	23
6	留意事項に対する履行状況等	24	~	24
7	その他全般的事項	25	~	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者, 大学名

国立大学法人 岩手大学 : 岩手大学

国立大学法人 東京農工大学 : 東京農工大学

(2) 大学の位置

(岩手大学)

〒020-8550 : 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号

(東京農工大学)

〒183-8509 : 東京都府中市幸町三丁目5番8号

(〒183-8538 : 東京都府中市晴見町三丁目8番1号)

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(3) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
〇〇大学	理事長 (該当しない場合は不要)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	該当なし
	学長			
	学部長			
	学科長等			
△△大学	理事長 (該当しない場合は不要)			該当なし
	学長			
	学部長			
	学科長等			

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
岩手大学農学部 共同獣医学科 学士(獣医学)	6 年	30 人	2年次 若干名 人	180 人	
東京農工大学農学部 共同獣医学科 学士(獣医学)	6	35	2年次 若干名 人	210	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

大学名	対象年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均 入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
岩手大学	A入学定員	() [若干名]	() [若干名]	(57) [若干名]	() [若干名]	(50) [若干名]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.04倍		
	志願者数	() [-]	() [-]	(57) [-]	() [-]	(50) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
	受験者数	() [-]	() [-]	(53) [-]	() [-]	(46) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
	合格者数	() [-]	() [-]	(4) [-]	() [-]	(3) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
	B入学者数	() [-]	() [-]	(4) [-]	() [-]	(2) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.06		1.06									
東京農工 大学	A入学定員	() [若干名]	() [若干名]	(若干名) [若干名]	() [若干名]	(若干名) [若干名]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.11倍		
	志願者数	() [-]	() [-]	(9) [1]	() [-]	(15) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
	受験者数	() [-]	() [-]	(8) [1]	() [-]	(15) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
	合格者数	() [-]	() [-]	(0) [0]	() [-]	(1) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
	B入学者数	() [-]	() [-]	(0) [0]	() [-]	(1) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
	入学定員超過率 B/A	1.11		1.14		1.08									

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
岩手大学	1年次	[-] 30	[-] -	[-] 32	[-] -	[-] 32	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	2年次	/		[-] 34	[-] -	[-] 34	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	3年次			/		[-] 34	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	4年次	/				/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	5年次			/				/		/		[]	[]	[]
	6年次	/				/						/		[]
	計			[-] 30	[-] -			[-] 66	[-] -	[-] 100	[-] -			[]
東京農工 大学	1年次	[-] 39	[-] -	[-] 40	[-] -	[-] 38	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	2年次	/		[-] 39	[-] -	[-] 40	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	3年次			/		[-] 40	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	4年次	/				/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
	5年次			/				/		/		[]	[]	[]
	6年次	/				/						/		[]
	計			[-] 39	[-] -			[-] 79	[-] -	[-] 118	[]			[]

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留學生数**を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
岩手大学	平成24年度入学者	30人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
				平成25年度	0人	0人		
				平成26年度	0人	0人		
	平成25年度入学者	36人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
				平成26年度	0人	0人		
	平成26年度入学者	32人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
	合計	98人	0人					0%
東京農工大学	平成24年度入学者	39人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
				平成25年度	0人	0人		
				平成26年度	0人	0人		
	平成25年度入学者	40人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
				平成26年度	0人	0人		
	平成26年度入学者	39人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
	合計	118人	0人					0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部共同獣医学科>

(1) 授業科目表

(農学部共同獣医学科) 【岩手大学開設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科育大目導学群入教	基礎ゼミナール	1前	岩手大学	1								全学教員	
	健康・スポーツA	1前	岩手大学	1								兼7兼6	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)
健康科目群	健康・スポーツB	1後	岩手大学	1								兼7兼6	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)
	英語総合Ⅰ	1前	岩手大学	1								兼22兼19兼8	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
外国語科目群	英語総合Ⅱ	1後	岩手大学	1								兼20兼19兼8	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
	英語コミュニケーションⅠ	1前	岩手大学	1								兼13兼20兼9	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
	英語コミュニケーションⅡ	1後	岩手大学	1								兼12兼20兼7	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
	英語総合Ⅲ	2前	岩手大学	1								兼1	
	英語コミュニケーションⅢ	2後	岩手大学	1								兼1	
	哲学の世界	1・2前	岩手大学		2								兼2
人文社会科学科目群	倫理学の世界	1前・後	岩手大学		2							兼1兼2	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更 教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
	憲法	2前・後	岩手大学		2							兼5	
	経済のしくみ	2前・後	岩手大学		2							兼3	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更(26)
	現代社会の社会学	1後・2前・後	岩手大学		2							兼4兼5	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更 教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
	心の理解	1後、2前・後	岩手大学		2							兼8兼7兼6	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更 教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
	日本の歴史と文化	1前・後	岩手大学		2							兼1	
	市民と政治	1後、2前・後	岩手大学		2							兼2兼3兼4	全学共通科目の見直しのため、配当年次を変更 教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
	生物学	1前	岩手大学	2								兼6兼4	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
理数系基礎科目群	化学	1前	岩手大学	2								兼1	
	獣医細胞生物学	1後	岩手大学	2			1	1				兼1	教育効果を高めるために、共同獣医学科専任教員の担当科目へ変更(26)
	情報基礎	1前	岩手大学	2								兼15兼12	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)
	初級ドイツ語(入門)	1前	岩手大学	1								兼10兼7	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
初級ドイツ語(入門)	1前	岩手大学	1								兼10兼7	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)	

初級ドイツ語（発展）	1後	岩手大学	1							兼10 兼7	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
初級ドイツ語（発展）	1後	岩手大学	1							兼10 兼7	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
初級フランス語（入門）	1前	岩手大学	1							兼10 兼8 兼10	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級フランス語（入門）	1前	岩手大学	1							兼10 兼8 兼10	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級フランス語（発展）	1後	岩手大学	1							兼11 兼9 兼9	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級フランス語（発展）	1後	岩手大学	1							兼11 兼8 兼9	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級中国語（入門）	1前	岩手大学	1							兼5 兼3 兼6	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級中国語（入門）	1前	岩手大学	1							兼5 兼3 兼6	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級中国語（発展）	1後	岩手大学	1							兼6 兼3 兼5	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級中国語（発展）	1後	岩手大学	1							兼6 兼3 兼5	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級韓国語（入門）	1前	岩手大学	1							兼3 兼2 兼3	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級韓国語（入門）	1前	岩手大学	1							兼3 兼2 兼3	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級韓国語（発展）	1後	岩手大学	1							兼3 兼2 兼3	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
初級韓国語（発展）	1後	岩手大学	1							兼3 兼2 兼3	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)(26)
くらしと科学技術	1後	岩手大学	2							兼1	
知的財産入門	1・2前	岩手大学	2							兼1	
岩手大学ミュージアム学	1前	岩手大学	2							兼1	
水と環境	1後	岩手大学	2							兼1	
動物と環境	1後	岩手大学	2							兼1	
生活と環境	1後	岩手大学	2							兼1	
農学のための倫理学	2後	岩手大学	2							兼2	
人の暮らしと生物環境	1後	岩手大学	2							兼1	
欧米の思想と文化	1後	岩手大学	2							兼1	
市民生活と法	1・2前	岩手大学	2							兼4	
総合フィールド科学	1前	岩手大学	2							兼7	
総合フィールド科学実習	1前	岩手大学	1							兼4 兼5	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)
生命のしくみ	1・2前後	岩手大学	2							兼3 兼4	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)
物理学入門	1前	岩手大学	2							兼1	
線形代数学入門	1後	岩手大学	2							兼1	
微分積分学入門	1後	岩手大学	2							兼1	
生物統計学	1後	岩手大学	2							兼2 兼1	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(26)
基礎化学実験	1後	岩手大学	1							兼1	

		基礎生物学実験	1後	岩手大学		1							兼23 兼18	教育効果を高めるために、全学共通科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(25)			
		基礎物理学演習	1後	岩手大学		1							兼2				
基礎獣医学科目群	基礎獣医学科目群	獣医学概論	1前	岩手大学	2		8							おこぼし、集中			
		獣医法規	4後 1後	岩手大学	1			1						教育効果を高めるため、配当年次を変更(24)			
		内臓・脈管系解剖学	2後 2前	岩手大学	2			1	1					兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更(24)		
		解剖学実習	2前・後	岩手大学	3			1	1								
		組織学	2前	岩手大学	2			1						兼1			
		組織学実習	2前	岩手大学	1			1	1								
		器官制御生理学	2後	岩手大学	2			1	1					兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		内分泌学	3前	岩手大学	2			3	1						おこぼし-教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		生理学実習	2後	岩手大学	1			1	1								
		獣医遺伝育種学	2前	岩手大学	1			1						兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		実験動物学	2前	岩手大学	2			1						兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		実験動物学実習	2後	岩手大学	1			1	2	1					教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		基礎放射線学	2後	岩手大学	2			1	1								
		獣医基礎生化学	2後	岩手大学	2			1	2						教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		生化学実習	3前	岩手大学	1			1	2						教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		統合薬理学	3後	岩手大学	2			1									
		薬理学実習	3前	岩手大学	1				1								
		病態獣医学科目群	病態獣医学科目群	病原微生物学	3前	岩手大学	2		1	1					兼1		
				微生物学実習	2後・3前	岩手大学	2			1	1					兼1	
				原虫・原虫病	3前	岩手大学	2			1						兼1	
蠕虫・蠕虫病・衛生動物学	3後			岩手大学	2			1						兼1			
寄生虫学実習	3後			岩手大学	1			1			1				教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
家禽疾病学	4前			岩手大学	2			1									
魚病学	4後			岩手大学	2									兼1			
動物病理学各論A(主要臓器)	3後 4後			岩手大学	2			1	1						教育効果を高めるため、配当年次を変更するとともに、担当教員の配置を見直し(26)		
動物病理学各論B(他臓器・組織)	4前 4後			岩手大学	2			1							教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)		
病理学実習	3後・4前 4前・後			岩手大学	2			1			1				教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)		
応用獣医学科目群	応用獣医学科目群	公衆衛生学総論	3前	岩手大学	1			1					兼1				
		人獣共通感染症学	3後	岩手大学	2			1									
		環境衛生学	3後	岩手大学	2			1	1					兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		公衆衛生学実習	3後	岩手大学	1			1	1					兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		毒性学実習	4後 3前	岩手大学	1			1						兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)		
		動物衛生学実習	3後	岩手大学	1			1	1					兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		野生動物学	3後	岩手大学	1			1						兼1	教育効果を高めるため、担当教員の配置を見直し(26)		
		食品衛生学実習	4前	岩手大学	1			1									
		公衆衛生実践実習	3・4・5前 後 3-4前	岩手大学	1			4 5	2		1				教育効果を高めるため、配当年次を変更するとともに、担当教員の配置を見直し(26)		
		小	専門教育科目	内科学総論	3後 4前	岩手大学	1		2							おこぼし 教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)	
消化器病学	4後			岩手大学	2		2						兼1	おこぼし			
外科学総論	3後 4前			岩手大学	1		1	1						おこぼし 教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)			
麻酔学・手術学	4前			岩手大学	1		1	1					兼1	おこぼし			
軟部外科学	4後			岩手大学	1		1	1					兼1	おこぼし			
小動物内科学実習・基礎編	4前			岩手大学	1		1				2						
小動物内科学実習・応用編	4後			岩手大学	1		1				2						
小動物外科学実習・基礎編	4前			岩手大学	1						1			兼1			

実証獣医学科目	動物臨床獣医学科目群	小動物外科学実習・応用編	4後	岩手大学	1					1		兼1		
		代謝病・中毒学	5後	岩手大学	1			2					兼2	オムニバス
		血液免疫病学	5後	岩手大学	1			2					兼2	オムニバス 教育効果を高めるために、担当教員の配置を見直し(26)
		神経病・運動器病学	5前	岩手大学	2			1						
		泌尿器病・生殖器病学	5後	岩手大学	2				1				兼1	
		臨床病理学	3後 5後	岩手大学	2			2					兼2	オムニバス 教育効果を高めるために、配当年次を変更(26)
		臨床腫瘍学	5後	岩手大学	2			1	1				兼2	オムニバス
		臨床栄養学	5後	岩手大学	1								兼1	
		画像診断学	5前	岩手大学	2			1					兼1	オムニバス
		画像診断実習	5前	岩手大学	1						1		兼1	
		総合参加型臨床実習Ⅰ	5前	岩手大学	1			2	1		3		兼2	
		総合参加型臨床実習Ⅱ	5前	岩手大学	1			2	1		3		兼2	
		大動物臨床獣医学科目群	繁殖機能制御学	4前	岩手大学	2			1	1				
	繁殖機能制御学実習		4前	岩手大学	1			1	1					
	臨床繁殖学実習		4後	岩手大学	1			1	1					
	産業動物内科学		4前 5前	岩手大学	2			1	1					教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)
	産業動物外科学		4後 5前	岩手大学	2			1						教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)
	馬臨床学		4後 5前	岩手大学	1								兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更(26)
	大動物臨床実習・基礎編		5前	岩手大学	1			2	1		1			
	大動物臨床実習・応用編		5前	岩手大学	1			3	2		1			
	総合参加型臨床実習Ⅴ		6前	岩手大学	1			3	2		1		兼4	集中
	総合参加型臨床実習Ⅵ		6前	岩手大学	1			3	2		1		兼4	集中
	選択科目	インターンシップ	3・4・5 前後	岩手大学		1								集中
		海外実習	3・4・5 前後	岩手大学		1								集中
		人と動物関係学	2前	岩手大学		2							兼2 兼1	集中 専門分野毎に担当教員の配置を見直し(26)
		動物品種論	3前	岩手大学		2		3 2					兼1	集中 専門分野毎に担当教員の配置を見直し(26)
食品安全管理学		4前	岩手大学		2		1						集中	
専修科目	獣医学演習	4後・5前	岩手大学	4			14	9	0	5	0	兼3		
	卒業研究	5後 6前後	岩手大学	10			14	9	0	5	0	兼3		

(農学部共同獣医学科)【東京農工大学開設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数				専任教員等の配置				備考	
				必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
科 育 大 目 導 学 群 入 教	農学基礎ゼミ	1前	東京農工大学	1									全学教員
	体力学実技	1前	東京農工大学	1									兼4
	生涯スポーツ実技	1後	東京農工大学	1									兼3
外 国 語 科 目 群	英語・リーディング・ベシックス	1前	東京農工大学	1									兼4
	英語・ライティング・ベシックス	1後	東京農工大学	1									兼2
	英語・イングリッシュ・コミュニケーションI	1後	東京農工大学	1									兼2
	英語・アドヴァンスド・リーディング	2後	東京農工大学	1									兼5
	英語・アドヴァンスド・ライティング	2前	東京農工大学	1									兼4
	英語・イングリッシュ・コミュニケーションII	2前	東京農工大学	1									兼2
人 文 社 会 科 学 科 目 群	哲学	2前	東京農工大学		2								兼1
	現代倫理論	1後	東京農工大学		2								兼1
	日本国憲法	1前	東京農工大学		2								兼1
	経済学	1後	東京農工大学		2								兼2
	社会学	1後	東京農工大学		2								兼1
	心理学	1後・2前 2後	東京農工大学		2								兼1 履修機会の多様化を図るため、配当年次を変更(24)

	歴史学	1前	東京農工大学		2								兼1	
	共生社会政策論	2前	東京農工大学		2								兼1	
理数系基礎科目群	生物学	1前	東京農工大学	2									兼6	
	化学	1前	東京農工大学	2									兼3	
	細胞生物化学	1後	東京農工大学	2									兼3	
	遺伝学	2前	東京農工大学	2									兼3	
	情報処理学	1前	東京農工大学	2									兼1	
共通教育科目	ドイツ語初級文法Ⅰ	1前	東京農工大学		1								兼2	
	ドイツ語初級文法Ⅱ	1後	東京農工大学		1								兼2	
	ドイツ語初級講読	1後	東京農工大学		1								兼1	
	フランス語初級文法Ⅰ	1前	東京農工大学		1								兼1	
	フランス語初級文法Ⅱ	1後	東京農工大学		1								兼1	
	フランス語初級講読	1後	東京農工大学		1								兼1	
	中国語初級文法Ⅰ	1前	東京農工大学		1								兼1	
	中国語初級文法Ⅱ	1後	東京農工大学		1								兼1	
	中国語初級講読	1後	東京農工大学		1								兼1	
	韓国語初級文法Ⅰ	1前	東京農工大学		1								兼1	
	韓国語初級文法Ⅱ	1後	東京農工大学		1								兼1	
	韓国語初級講読	1後	東京農工大学		1								兼1	
	科学史	1前	東京農工大学		2								兼1	
	知的財産権論	2後	東京農工大学		2								兼1	
	多文化共生論	1後	東京農工大学		2								兼1	
	自然保護文化論	2後	東京農工大学		2								兼2	
	産業史	1前	東京農工大学		2								兼1	
	食料・環境問題	1前	東京農工大学		2								兼2	
	技術者倫理	2後	東京農工大学		2								兼1	
	生命倫理	2後	東京農工大学		2								兼1	
	現代宗教論	1前	東京農工大学		2								兼1	
	国際平和論	2後	東京農工大学		2								兼1	
	MORE SENSE入門	1前	東京農工大学		1								兼7	
	生態学	1後	東京農工大学		2								兼3	
	微生物学	2前	東京農工大学		2								兼3	
	物理学	1前	東京農工大学		2								兼1	
	線形代数学Ⅰ	1前	東京農工大学		2								兼1	
	微分積分学Ⅰ	1後	東京農工大学		2								兼1	
	数理統計学	2後	東京農工大学		2								兼1	
	化学実験	1後・2前	東京農工大学		1								兼6	
	生物学実験	1後・2前	東京農工大学		1								兼6	
	有機化学	2前	東京農工大学		2								兼2	
配置大学特色科目群	獣医倫理	1後	東京農工大学	2		11	1						兼2 兼4	私ニハス、集中教育効果を高めるため、私ニハス方式にし、教員数を変更(25)
	獣医事法規	4後 1後	東京農工大学	1									兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更(24)
	運動器・神経系解剖学	2前 1後	東京農工大学	2		1	1						兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更(24)
	解剖学実習	2前・後	東京農工大学	3		1	1							
	組織学実習	2前	東京農工大学	1		1	1							
	発生学	1後 2後	東京農工大学	1									兼1	教育効果を高めるため、配当年次を変更(24)
	統合生理学	2前	東京農工大学	2		1	1						兼1	
	内分泌学	3前	東京農工大学	2		3	1							私ニハス

	生理学実習	2後	東京農工大学	1		1	1		1					
	獣医遺伝育種学	*	東京農工大学	1								兼1		
	動物行動学	2後	東京農工大学	2			1					兼1		
	実験動物学実習	2後	東京農工大学	1								兼1		
	基礎放射線学	2後	東京農工大学	2								兼1		
	獣医代謝生化学	3前	東京農工大学	2		1								
	生化学実習	3前	東京農工大学	1		1	1							
	基礎薬理学	3前	東京農工大学	2		1	1						兼1	
	薬理学実習	3前	東京農工大学	1		1	1							
	病態獣医学科目群	微生物学総論	2後	東京農工大学	2			1					兼2	
		微生物学実習	2後・3前	東京農工大学	2			1					兼2	
		免疫学	3後	東京農工大学	2		1	1						
寄生虫学実習		3後	東京農工大学	1					1			兼1		
動物感染症学		4前 3後	東京農工大学	3		1				1		兼3	教育効果を高めるため、配当年次を変更(24)	
魚病学		4後	東京農工大学	2								兼1		
動物病理学総論		3後 4前	東京農工大学	2		1	1	1					教育効果を高めるため、配当年次を変更(24)	
動物病理学各論B(他臓器・組織)		4前 4後	東京農工大学	2		1	1	1					共用試験(4年次終了時)のため、配当年次を変更(26)	
病理学実習		3後・4前 4前・後	東京農工大学	2		1	1	1					共用試験(4年次終了時)のため、配当年次を変更(26)	
応用獣医学科目群		公衆衛生学総論	3前	東京農工大学	1		1			1				
		疫学	3前	東京農工大学	2			1					兼2	
		公衆衛生学実習	3後	東京農工大学	1		1			1				
	毒性学	4後 3前	東京農工大学	2				1				兼1	共用試験(4年次終了時)のため、配当年次を変更(26)	
	毒性学実習	4後 3前	東京農工大学	1				1				兼1	共用試験(4年次終了時)のため、配当年次を変更(26)	
	動物衛生学	3後	東京農工大学	2		1	1					兼3		
	動物衛生学実習	3後	東京農工大学	1		1	1					兼2		
	野生動物学	3後	東京農工大学	1			1							
	食品衛生学	4前	東京農工大学	2		1				1				
	食品衛生学実習	4前	東京農工大学	1		1				1				
	公衆衛生実践実習	3前~5後 3~4前	東京農工大学	1		5	3	1	2				履修機会の多様化を図るため、配当年次を変更(26)	
	小動物臨床獣医学科目群	内科学総論	3後 4前	東京農工大学	1		2	2		2				共用試験(4年次終了時)のため、配当年次を変更(26)
呼吸器病・循環器病学		4前	東京農工大学	2			1	1						
消化器病学		4後	東京農工大学	2		3	2		1				おしバス	
外科学総論		3後 4前	東京農工大学	1		1	3	3				兼1	おしバス 共用試験(4年次終了時)のため、配当年次を変更(26)	
麻酔学・手術学		4前	東京農工大学	1			3	3				兼1	おしバス	
軟部外科学		4後	東京農工大学	1		1	2	2					おしバス	
小動物内科学実習・基礎編		4前	東京農工大学	1		1	3		1					
小動物内科学実習・応用編		4後	東京農工大学	1			1		1					
小動物外科学実習・基礎編		4前	東京農工大学	1		1	2	3				兼1		
小動物外科学実習・応用編		4後	東京農工大学	1		1	2	3				兼1		
内分泌病・皮膚病学		5前	東京農工大学	2		3	1					兼1		
代謝病・中毒学		5後	東京農工大学	1		4	2		2				おしバス	
血液免疫病学		5後	東京農工大学	1		2	1		1			兼1	おしバス	
臨床病理学		3後 5後	東京農工大学	2		3	2		2				おしバス 共用試験(4年次終了時)のため、配当年次を変更(26)	
臨床薬理学		5前	東京農工大学	1		1	1					兼1		
臨床腫瘍学		5後	東京農工大学	2		2		1					おしバス	
臨床栄養学		5後	東京農工大学	1								兼1		
画像診断学		5前	東京農工大学	2			1	1					おしバス	

	画像診断実習	5前	東京農工大学	1			1	1														
	眼科学	5後 6前	東京農工大学	1			1														共用試験（4年次終了時）のため、配当年次を変更（26）	
	動物行動治療学	4後 6前	東京農工大学	1			1														兼1 共用試験（4年次終了時）のため、配当年次を変更（26）	
	総合参加型臨床実習Ⅰ	5前	東京農工大学	1			3	4	3	2											兼1	
	総合参加型臨床実習Ⅱ	5前	東京農工大学	1			3	4	3	2											兼1	
	総合参加型臨床実習Ⅲ	5後	東京農工大学	1			3	4	3	2											兼1	集中
	総合参加型臨床実習Ⅳ	5後	東京農工大学	1			3	4	3	2											兼1	集中
大動物臨床獣医学科目群	臨床繁殖学	4後	東京農工大学	2			1	1														
	繁殖機能制御学実習	4前	東京農工大学	1			1	1														
	臨床繁殖学実習	4後	東京農工大学	1			1	1														
	大動物臨床実習・基礎編	5前	東京農工大学	1																		兼2
	大動物臨床実習・応用編	5前	東京農工大学	1			1	1														兼2
選択科目	インターンシップ	3・4・5 前後	東京農工大学		1																	集中
	海外実習	3・4・5 前後	東京農工大学		1																	集中
	動物園動物学	2後	東京農工大学		2																	兼3 集中
	国際感染症制御学	3後	東京農工大学		2																	兼3 集中
	動物病院経営学	4後	東京農工大学		2																	兼3 集中
専修科目	獣医学演習	4後・5前	東京農工大学	4			14	12	4	4	0											兼3
	卒業研究	5後、 6前後	東京農工大学	10			14	12	4	4	0											兼3

- (注) ・ 設置計画書様式第2号（その2の2）又は「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成25年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、記入してください。

(2) 授業科目数

大学名	届出時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
岩手大学	科目 81	科目 49	科目 0	科目 130	科目 81 [0]	科目 49 [0]	科目 0 [0]	科目 130 [0]	
東京農工大学	科目 83	科目 45	科目 0	科目 128	科目 83 [0]	科目 45 [0]	科目 0 [0]	科目 128 [0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
岩手大学	1	該当なし					
	2						
	3						
東京農工大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
岩手大学	1	該当なし					
	2						
	3						
東京農工大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

岩手大学： 該当なし 東京農工大学： 該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(岩手大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(東京農工大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(〇〇大学)

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
合 計	m ²	m ²	m ²	m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数	(例) 平成26年4月 専任教授1名を新規 採用のため(26)			
				(例) 16 -15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	該当なし		機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	() ()	() ()		
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	() ()	() ()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(△△大学)

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩○分, ○km)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">該当なし</div>			室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	冊	機 械・器 具	標 本			
	〇〇学部	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)		
	計	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 構成大学毎に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岩手大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	取 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部									
人間科学課程	4	40	3年次 10	160	学士 (総合科学)	1.06	H12	岩手県盛岡市上田三丁目18番34号	
国際文化課程	4	75		300	学士 (総合科学)	1.03	H12	同上	
法学・経済課程	4	70		280	学士 (総合科学)	1.04	H12	同上	
環境科学課程	4	30		120	学士 (総合科学)	1.09	H12	同上	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	160	—	640	学士 (教育)	1.06	H12	岩手県盛岡市上田三丁目18番33号	
生涯教育課程	4	50	—	200	学士 (生涯教育)	1.08	H12	同上	
芸術文化課程	4	40	—	160	学士 (芸術文化)	1.06	H12	同上	
工学部									
応用化学・生命工学科	4	75	3年次 20	300	学士 (工学)	1.08	H21	岩手県盛岡市上田四丁目3番5号	
マテリアル工学科	4	60		240	学士 (工学)	1.10	H21	同上	
電気電子・情報システム工学科	4	120		480	学士 (工学)	1.09	H21	同上	
機械システム工学科	4	80		320	学士 (工学)	1.07	H21	同上	
社会環境工学科	4	65		260	学士 (工学)	1.06	H21	同上	
農学部									
農学生命課程	4	55	3年次 5	220	学士 (農学)	1.10	H19	岩手県盛岡市上田三丁目18番8号	
応用生物化学課程	4	40		160	学士 (農学)	1.01	H19	同上	
共生環境課程	4	55		220	学士 (農学)	1.09	H19	同上	
動物科学課程	4	30		120	学士 (農学)	1.07	H19	同上	
共同獣医学科	6	30		60	学士 (獣医学)	1.04	H24	同上	

人文社会科学部研究科（修士課程）						
人間科学専攻	2	8	—	16	修士 （学術）	0.68 H16 岩手県盛岡市上田三丁目18番34号
国際文化専攻	2	4	—	8	修士 （学術）	1.00 H16 同上
社会環境システム専攻	2	4	—	8	修士 （学術）	0.87 H16 同上
教育学研究科（修士課程）						
学校教育実践専攻	2	12	—	24	修士 （教育学）	0.74 H21 岩手県盛岡市上田三丁目18番33号
教科教育専攻	2	20	—	40	修士 （教育学）	1.42 H7 同上
工学研究科（博士前期課程）						
応用化学・生命工学専攻	2	25	—	50	修士 （工学）	1.10 H21 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号
フロンティア材料機能工学専攻	2	30	—	60	修士 （工学）	1.10 H21 同上
電気電子・情報システム工学専攻	2	40	—	80	修士 （工学）	1.11 H21 同上
機械システム工学専攻	2	30	—	60	修士 （工学）	1.18 H21 同上
社会環境工学専攻	2	20	—	40	修士 （工学）	0.77 H21 同上
デザイン・メディア工学専攻	2	10	—	20	修士（工学又は 芸術工学）	1.55 H21 同上
金型・鋳造工学専攻	2	10	—	20	修士 （工学）	1.70 H18 同上
工学研究科（博士後期課程）						
フロンティア物質機能工学専攻	3	9	—	27	博士 （工学）	0.40 H21 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号
電気電子・情報システム工学専攻	3	4	—	12	博士 （工学）	0.41 H21 同上
機械・社会環境システム工学専攻	3	4	—	12	博士 （工学）	1.41 H21 同上
デザイン・メディア工学専攻	3	3	—	9	博士（工学又は 芸術工学）	1.77 H21 同上
農学研究科（修士課程）						
農学生命専攻	2	20	—	40	修士 （農学）	0.50 H21 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号
応用生物化学専攻	2	15	—	30	修士 （農学）	0.89 H21 同上
共生環境専攻	2	16	—	32	修士 （農学）	0.71 H21 同上
動物科学専攻	2	8	—	16	修士 （農学）	1.00 H21 同上
バイオフィロンティア専攻	2	8	—	16	修士 （農学）	1.37 H21 同上
連合農学研究科						
生物生産科学専攻	3	8	—	24	博士（農学又は 学術）	1.24 H2 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号
生物資源科学専攻	3	10	—	30	博士（農学又は 学術）	0.83 H2 同上
寒冷圏生命システム学専攻	3	6	—	18	博士（農学又は 学術）	0.50 H18 同上
生物環境科学専攻	3	8	—	24	博士（農学又は 学術）	1.41 H2 同上

大学の名称	東京農工大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 容 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
農学部									
生物生産科学科	4	57	—	228	学士 (農学)	1.06	H16	東京都府中市晴見町 三丁目8番1号	
応用生物科学科	4	71	—	284	学士 (農学)	1.06	H16	同上	
環境資源科学科	4	61	—	244	学士 (農学)	1.09	H16	同上	
地域生態システム学科	4	76	—	304	学士 (農学)	1.06	H16	同上	
共同獣医学科	6	35	—	70	学士 (獣医学)	1.11	H24	同上	
工学部									
生命工学科	4	77	11	330	学士 (工学)	1.09	H16	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
応用分子化学科	4	46	5	194	学士 (工学)	1.09	H16	同上	
有機材料化学科	4	41	5	174	学士 (工学)	1.10	H16	同上	
化学システム工学科	4	35	5	150	学士 (工学)	1.09	H16	同上	
機械システム工学科	4	116	16	496	学士 (工学)	1.07	H16	同上	
物理システム工学科	4	56	—	224	学士 (工学)	1.03	H16	同上	
電気電子工学科	4	88	20	392	学士 (工学)	1.04	H16	同上	
情報工学科	4	62	8	264	学士 (工学)	1.04	H16	同上	
工学府（博士前期課程）									
生命工学専攻	2	58	—	116	修士（工学又は 学術）	1.07	H16	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
応用化学専攻	2	78	—	156	修士（工学又は 学術）	1.02	H16	同上	
機械システム工学専攻	2	70	—	140	修士（工学又は 学術）	1.07	H16	同上	
物理システム工学専攻	2	26	—	52	修士（工学又は 学術）	1.07	H16	同上	
電気電子工学専攻	2	66	—	132	修士（工学又は 学術）	1.05	H16	同上	
情報工学専攻	2	42	—	84	修士（工学又は 学術）	1.12	H18	同上	
工学府（博士後期課程）									
生命工学専攻	3	14	—	42	博士（工学又は 学術）	1.11	H16	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	
応用化学専攻	3	14	—	42	博士（工学又は 学術）	1.09	H16	同上	
機械システム工学専攻	3	13	—	39	博士（工学又は 学術）	1.14	H16	同上	
電子情報工学専攻	3	19	—	57	博士（工学又は 学術）	0.85	H16	同上	
工学府（専門職学位課程）									
産業技術専攻	2	40	—	80	技術経営修士 (専門職)	1.02	H23	東京都小金井市中町 二丁目24番16号	

農学府（修士課程）										
生物生産科学専攻	27	—	54	修士（農学又は学術）	1.19	H16	東京都府中市晴見町三丁目8番1号			
共生持続社会学専攻	12	—	24	修士（農学又は学術）	1.24	H16	同上			
応用生命化学専攻	30	—	60	修士（農学又は学術）	1.30	H16	同上			
生物制御科学専攻	20	—	40	修士（農学又は学術）	1.07	H16	同上			
環境資源物質科学専攻	11	—	22	修士（農学又は学術）	1.49	H16	同上			
物質循環環境科学専攻	17	—	34	修士（農学又は学術）	1.08	H16	同上			
自然環境保全学専攻	19	—	38	修士（農学又は学術）	1.20	H16	同上			
農業環境工学専攻	10	—	20	修士（農学又は学術）	0.80	H16	同上			
国際環境農学専攻	28	—	56	修士（農学又は学術）	0.82	H16	同上			
生物システム応用科学府 （博士前期課程）										
生物システム応用科学専攻	2	69	—	138	修士（工学、農学又は学術）	1.01	H16	東京都小金井市中町二丁目24番16号		
生物システム応用科学府 （博士後期課程）										
生物システム応用科学専攻	3	22	—	66	博士（工学、農学又は学術）	0.90	H16	東京都小金井市中町二丁目24番16号		
共同先進健康科学専攻	3	6	—	18	博士（生命科学）	0.83	H22	同上		
連合農学研究科（博士課程）										
生物生産科学専攻	3	15	—	45	博士（農学又は学術）	1.10	H19	東京都府中市晴見町三丁目8番1号		
応用生命科学専攻	3	10	—	30	博士（農学又は学術）	0.66	H19	同上		
環境資源共生科学専攻	3	10	—	30	博士（農学又は学術）	1.16	H19	同上		
農業環境工学専攻	3	4	—	12	博士（農学又は学術）	2.50	H19	同上		
農林共生社会科学専攻	3	6	—	18	博士（農学又は学術）	1.05	H19	同上		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<〇〇研究科 〇〇専攻>

(1) 担当教員表
(〇〇大学)

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成24年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆◆ (〇〇)	平成25年4月	国際経済学	平成25年3月 〇〇〇〇教授辞任のため 平成25年度より担当者の 変更(25) 平成25年7月 担当者変更(25)
					兼任	講師	◇◇◇◇ (〇〇)	平成25年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成25年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成24年4月	商	該当なし				………のため、就任が遅延 (24)	
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成25年10月	金融論			後任未定			平成25年10月 □□□□准教授就任辞退(26) 【後任未定】平成26年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成26年4月	〇〇〇〇論	平成26年4月から 教育課程の充実を図るた め、科目を追加(26)

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

(注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科に所属しない教員であって、全学共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、
<〇〇研究科 〇〇専攻>を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

	設置時の計画					変更状況					年齢構成	
	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
岩手大学	14 (14)	9 (6)	0 (0)	5 (5)	28 (25)	13 [△1]	10 [1]	0 [0]	3 [△2]	26 [△2]	65 歳	0 名
東京農工大学	14 (12)	12 (11)	4 (6)	4 (4)	34 (33)	10 [△4]	13 [1]	5 [1]	6 [2]	34 [0]	65 歳	0 名

	設置時の計画			変更状況			年齢構成	
	研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
〇〇大学	()	()	()				歳	名
△△大学	()	()	()				歳	名

該当なし

- (注) ・ 様式は、学部・学科の場合は上段、研究科の場合は下段を使用してください。
- ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 - ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

	番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
〇〇大学	1			該当なし
	2			
	3			
△△大学	1			
	2			
	3			

- (注) ・ 専任教員辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

〇〇大学：	該当なし
△△大学：	

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

該当なし

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<△△研究科 △△専攻>

(1) 設置計画変更事項等
(○○大学)

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目○○単位、 ② 施設・設備 a 講義室○室 (○㎡) b 自習室○室 (○㎡) c 図書○○冊	高めるため、必修科目(1科 (別添○「新旧対照表」参照) 善するため、講義室、自習室を 増やすとともに、図書も○○冊 増書した。

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学毎に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)
(○○大学)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等	<h1 style="text-align: center;">該当なし</h1>
---	---

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付してください。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載してください。(記入例参照)
- ・ 構成大学毎に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項
(〇〇大学)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見	該当なし
② 自己点検・評価報告書 a 公表（予定）時期 記入例） ・平成26年5月1日 公表 b 公表方法 記入例） ・自己点検・評価報告書を発行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成26年8月末を予定）	
③ 認証評価を受ける計画 記入例） ・平成26年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中	

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 構成大学毎に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項
(岩手大学)

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)
b 公表予定時期	(26年 7月 一日)

(東京農工大学)

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)
b 公表予定時期	(26年 7月 一日)